

臨床検体使用に関するお知らせ

『 研究課題 痔瘻根治除術に対する術式と手術成績に関する後方視的検討 』

【研究の背景および目的】

痔瘻（いわゆる穴痔）は、頻度の多い一般的な外科疾患です。

日本で痔核を代表とする肛門疾患の手術は肛門専門病院もしくは開業の肛門科医が施行することが多いのが現状です。

その結果大学病院をはじめとする総合病院で痔瘻の手術を施行できる病院が少なくなります。

東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科は数少ない痔瘻手術を施行できる総合病院です。

これにより合併症が多くリスクの高い患者さんが紹介されてくることが多くなります。

そこで従来の痔瘻手術をより確実で合併症の少ない従来法を基としてアレンジした術式の開発が必要とされました。

東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科では、過去に行ってきた痔瘻手術の再発率や合併症などを検討し最適な術式を開発することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、患者さんにより確実で合併症の少ない治療を提供することにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです

2008年4月から2021年9月に東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科において痔瘻の手術を受けた症例を対象とします。

診療録（カルテ）から抽出した以下の情報を解析することにより調査します。

患者因子：年齢、性、既往歴、併存疾患の有無と種類など

疾患因子：痔瘻の隅域分類、過去の痔瘻に対する手術術式、再発の有無など

手術因子：従来法の手術・新術式、手術時間、出血、合併症、肛門機能障害の有無と程度

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することはありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡ください。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

一般・消化器外科

職立・氏名 講師・栗原 聰元

電話 03-3762-4151 内線6530